



# いなかわ福祉会 理事長年頭挨拶



新年あけましておめでとうございます。昨年も地域の皆様に多くのご支援・ご協力をいただきましてありがとうございました。

昨年の法人の動きとしましては、一昨年より進めてまいりました健寿苑の移転改築、ケアセンターの大規模改修を終え、新たな健寿苑、ケアセンターいなかわが誕生いたしました。利用される方々の生活環境の向上と、職員の労働環境にも良い影響がありました。

今年は稲川地区の放課後児童クラブが一つとなり、稲川小学校に隣接した場所で新たに運営をスタートさせます。財務基盤の強化を特に重点的に行い、地域の方々から支持され愛される法人であり続けることができるように取り組んでまいりたいと思います。また、事業の内容を検討し、事業の再編にも大胆に取り組み、持続可能な法人となるように努めてまいります。

2022年の寅年は「壬寅」です。十干の「壬(みずのえ)」は「妊に通じ、陽気を下に妊(はら)む」、「寅」は「蟻(ミミズ)に通じ、春の草木が生ずる」という意味があり、このことから「壬寅」は『冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、新しい成長の礎となる年』とされ、未来への大いなる可能性を感じさせます。

最後になりますが、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域づくりと稲川地区の福祉向上のため、役職員一同品格と自主性を持ち、更なる努力を続け、飛躍の年にしたいと思っておりますので、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。2022年が皆様にとって希望あふれる年になりますことを祈念申し上げますとともに、今なお続く新型コロナウイルスの脅威から開放され、安心して暮らせる世の中になることを切に願い、新年のご挨拶とさせていただきます。



社会福祉法人いなかわ福祉会  
理事長 佐藤 正明

令和4年1月1日  
社会福祉法人いなかわ福祉会 理事長 佐藤 正明

## 社会福祉法人いなかわ福祉会 役員紹介（順不同・敬称略）

### 諮問機関

評議員会（評議員7名）

### 執行機関

理事会（理事6名）

（代表機関）  
理事長

常務理事（1名）

### 監査機関

監事（監事2名）



#### 評議員（7名）

松村 政男（稲庭町）  
高橋 政介（稲庭町）  
佐藤 ヒデ子（稲庭町）  
高橋 俊明（川連町）  
佐藤 育子（川連町）  
須田 豊（川連町）  
加藤 満（三梨町）

#### 理事（6名）

佐藤 正明（稲庭町・理事長）  
高橋 みどり（駒形町）  
齊藤 萬（駒形町・常務理事）  
加藤 エリ子（三梨町）  
加藤 光男（三梨町）  
古関 司（川連町）

#### 監事（2名）

大友 農弘（三梨町）  
佐藤 邦昭（駒形町）

# 月刊 いなかわ福祉会だより

【発行者】  
社会福祉法人 いなかわ福祉会  
秋田県湯沢市川連町  
字平城下 14 番地 3  
電話：0183-42-2557  
FAX：0183-42-2541



2022年  
明けまして  
おめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。皆さまはお正月をどのようにお過ごしでしたか。令和4年は壬寅 みずのえとら)年で、「説には壬寅は厳しい冬を乗り越え、新しいステージに向かう準備段階にあたる年だとも言われているようです。これは縁起の良い年になります。そうではありませんか。私たちがスタッフも、それぞれの持ち場で心を引き締めて邁進していきたいと思っておりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## スマイルケアみつなし 土砂災害避難訓練」実施

令和3年10月28日に従来の避難訓練とは別に「土砂災害避難訓練」を行いました。三梨のスマイルケアみつなしから駒形のケアセンターいなかわまで車両を使つての避難訓練でした。他施設と連携をとりながらの訓練は、今後の課題を洗い出す良い機会となりました。



## ある日のレクリエーション風景 スマイルケア特養編

いつもと変わらない日常だけれど、ちょっとしたおしゃべりをして、いつもと少し違った晴れやかな気分を味わって楽しんでもらいたい。そんな気持ちで12月のある日 冬至を前に女をあげよう♪かわいいうってえべ？」と題したレクリエーションを行いました。



香りのハンドクリームを塗るハンドマッサージ、その後の大撮影会を経て、最後は葛湯を飲んでほっこりとした癒しの時間となりました。最初は気おくれ気味の入居者の皆さんでしたが、施術が進むにつれ、わいわいがやがや大盛り上がりであつという間に時間が過ぎていきました。



## 初詣とは

初詣は、年が明けてから初めて神社やお寺に参拝する行事です。一年の感謝を捧げたり、新年の無事と平安を祈願します。一般的には正月三が日に参拝しますが、二が日に行けない場合は、松の内に参拝するのが望ましいようです。

自分の干支の守護本尊が祀られているお寺ならさらに縁起が良く、帰りは寄り道をせずまっすぐ家に帰ったほうが良いとされています。

## 編集後記

新年の福祉会だよりを楽しみながら担当させていただきました。日々の雪かきで、体のあちこちが痛いですが、皆さんも無理をせず、自分の体調をみながら除雪を頑張ってください。

今回は私が担当しました！



【広報委員】  
高橋 新子  
佐藤 洋子

